



Title	日本中央アジア学会2017年度大会プログラム
Citation	日本中央アジア学会報, 14, 23-24
Issue Date	2018-07-31
Doc URL	http://hdl.handle.net/2115/88354
Type	other
File Information	JB014_002amprogram.pdf



[Instructions for use](#)

日本中央アジア学会 2017 年度大会プログラム

■概要

日程：2018年3月24日(土)～3月25日(日)

会場：KKR 江ノ島ニュー向洋

■プログラム

● 3月24日(土)

13:00 受付

14:00～16:45 公開講演

新免康(中央大学)、塩谷哲史(筑波大学)

「タシュケント在住の一ウイグル知識人の歴史的記憶
——社会変動と越境」

澤田稔(富山大学)

「歴史書としての聖者伝
——16～18世紀カシュガル・ホージャ家の伝記
『タズキラ・イ・ホージャガーン』の翻訳を終えて」

コメント：小沼孝博(東北学院大学)、秋山徹(早稲田大学)

公開講演共催

● 日本学術振興会科学研究費基盤研究(B)

「19～20世紀中央ユーラシアにおける越境と新疆ムスリム社会の文化変容に関する研究」

● 中央大学政策文化総合研究所プロジェクト・チーム

「ユーラシアの変動と日本：移動・交流と社会文化変容」

17:00～18:00 個人発表①

磯貝真澄(京都外国語大学)

「ヴォルガ・ウラル地域テュルク系ムスリム家族の法社会史研究の試み
——19世紀末の婚姻簿から」

● 3月25日(日)

9:00～12:20 個人発表②

岩倉洸(京都大学)

「ポスト・ソビエト時代のアゼルバイジャンにおける国家と宗教
——カフカース・ムスリム宗務局から見るイスラームの国家管理の諸相」

立花優(北海道大学)

「ポストソ連期グルジアにおける政党の意味
——下野後の統一国民運動 UNM の検討を中心に」

マフムドフ・ウミド(法政大学)

「日本の中央アジア外交に見る中露要因」

14:00～14:30 日本中央アジア学会総会

14:40～18:00 個人発表③

東田範子(東京藝術大学)

「カザフスタンにおける音楽伝承の再編成と音楽学者の役割
——1970年代以降の展開」

庄司翼(京都大学)

「現代ウズベキスタンにおけるドゥアー」

和崎聖日(中部大学)

「旧ソ連・中央アジアのスーフィズムと病氣治療
——アフマド・ヤサヴィーの現代的意義に寄せて」

*発表者の所属はいずれも発表時のものです。